

PRESS RELEASE

2004年1月30日 No.04001

“ケミンフーズアジア アワード 2003”が決定、 機能性食品成分の研究に対し助成

眼の栄養素「ルテイン」を供給するケミン・ジャパン株式会社(東京都港区)では、抗酸化物質や機能性食品に利用される素材に関する研究をサポートする目的で、2003年から“ケミンフーズアジア アワード”を設置。受賞の対象となるのは、毎年1月1日から12月31日までに開催された学会で発表された研究で、ケミン・ジャパン社の研究開発部が中心となって対象研究を選出、毎年12月に受賞者を決定する方針です。2003年は下記研究テーマ二題を栄えある第一回目の受賞研究として決定し、それぞれ賞状と研究助成金100万円を授与しました。

北海道大学大学院 大野重昭 教授ら

「ラットエンドトキシン誘発ぶどう膜炎に対するアスタキサンチンの抑制効果の機序」
(第107回日本眼科学会総会 / 2003年4月福岡にて開催)

韓国カトリック大学 Choun-Ki Joo 教授ら

「網膜虚血モデルにおける神経細胞保護に関する研究 (Phosphorylation of Glycogen Synthase Kinase-3beta Mediates Sulindac-Induced Neuronal Cell Survival in Retian Ischemia Model)」

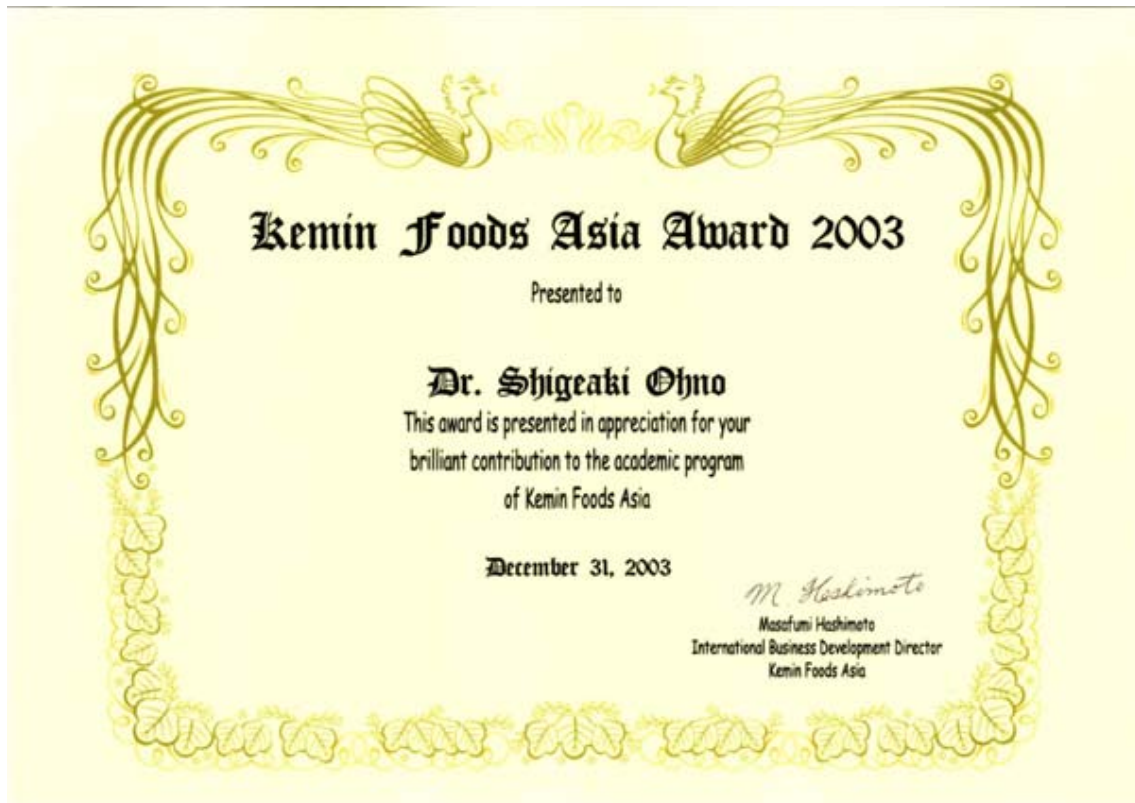
(第75回ARVO / 2003年5月米国フロリダ州にて開催)

ケミン・ジャパンでは、ルテインをはじめ、幅広い機能性食品素材、抗酸化物質、サプリメントなどに対する全般的な地位向上を目的とした学会・学術活動へのサポートを行っています。その一環として、昨年2月にはシンガポールで開催されたSERI - ARVOに参加、アジアで開かれた眼科学会では初めてサプリメントに関するセミナーを開催しました。

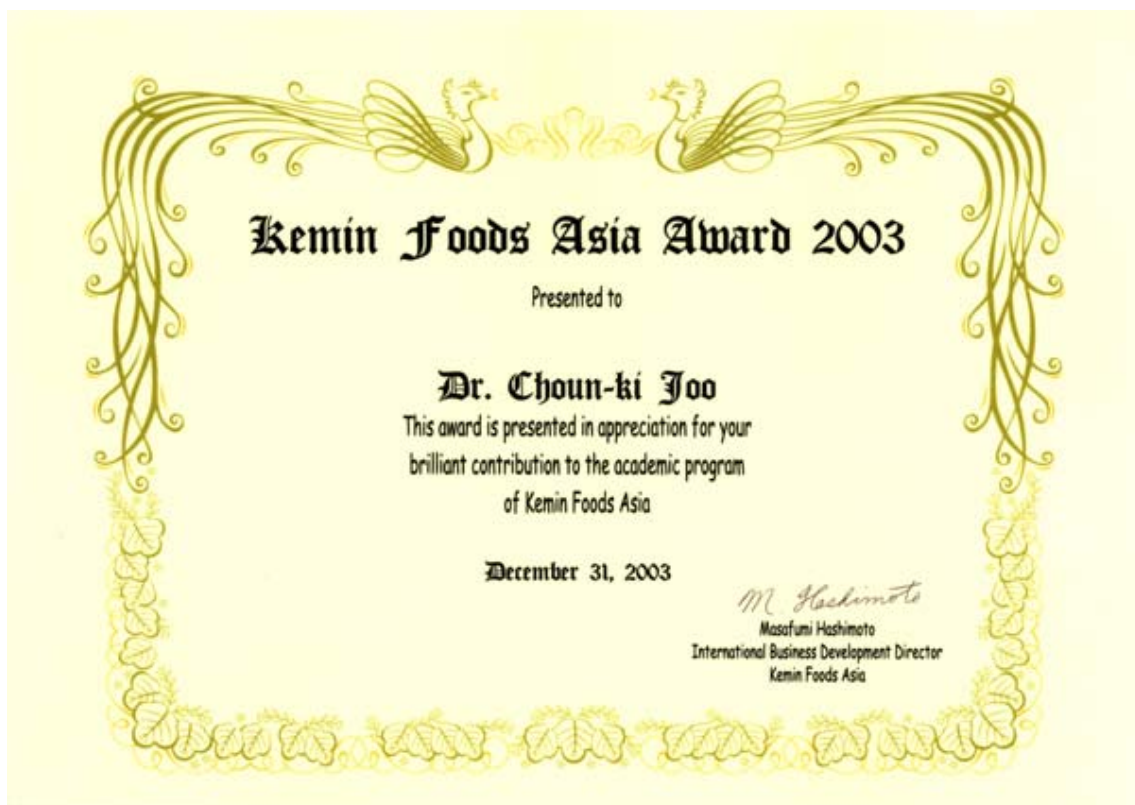
また、2003年4月の日本眼科学会では、これまで注視されてこなかった機能性食品素材や抗酸化物質が注目されたほか、9月の日本医療薬学界では、有効性、過剰摂取、医薬品との相互作用など多角的な視点からサプリメントを考えるセミナーを実施。眼科医、薬剤師の注目を集めるなど、取り組みに対する大きな成果を得ています。今後は、栄養素としてルテインの認知を高めるためにも、栄養学・栄養士分野における普及・啓蒙活動に取り組む方針です。

ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界60カ国以上で事業を展開しているケミンググループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社はアジア地域における拠点として2000年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである(株)光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。



北海道大学大学院 大野教授への賞状



韓国カトリック大学 Joo 教授への賞状